

～平成 30 年 6 月議会を終えて～ (MICE 特集)

前略

去る6月議会にて、下記項目で市政に提言・質問致しました。
また今議会はMICE計画の是非を問う議会でもありました。審議する委員会に所属しておりましたので、あわせてここにご報告致します。

ご一読頂ければ幸いです。

草々

質問内容

1. MICE計画と外部環境の変化について

2. 長崎市版DMOについて

- ①収益源の確保
- ②人材の確保

3. 子どもの貧困対策について

4. 不登校の現状と対策について

5. 容積率と高さ制限の緩和について

6. 学校給食センターについて

次ページより、今回はMICEを特集して市政報告を作成致しました。
一般質問中のMICE質問の趣旨と長崎市の回答と合わせて報告致します。

※一般質問の様子を、You Tubeでご覧になれます。 EX)「長崎市議会 一般質問 平野剛 平成30年」



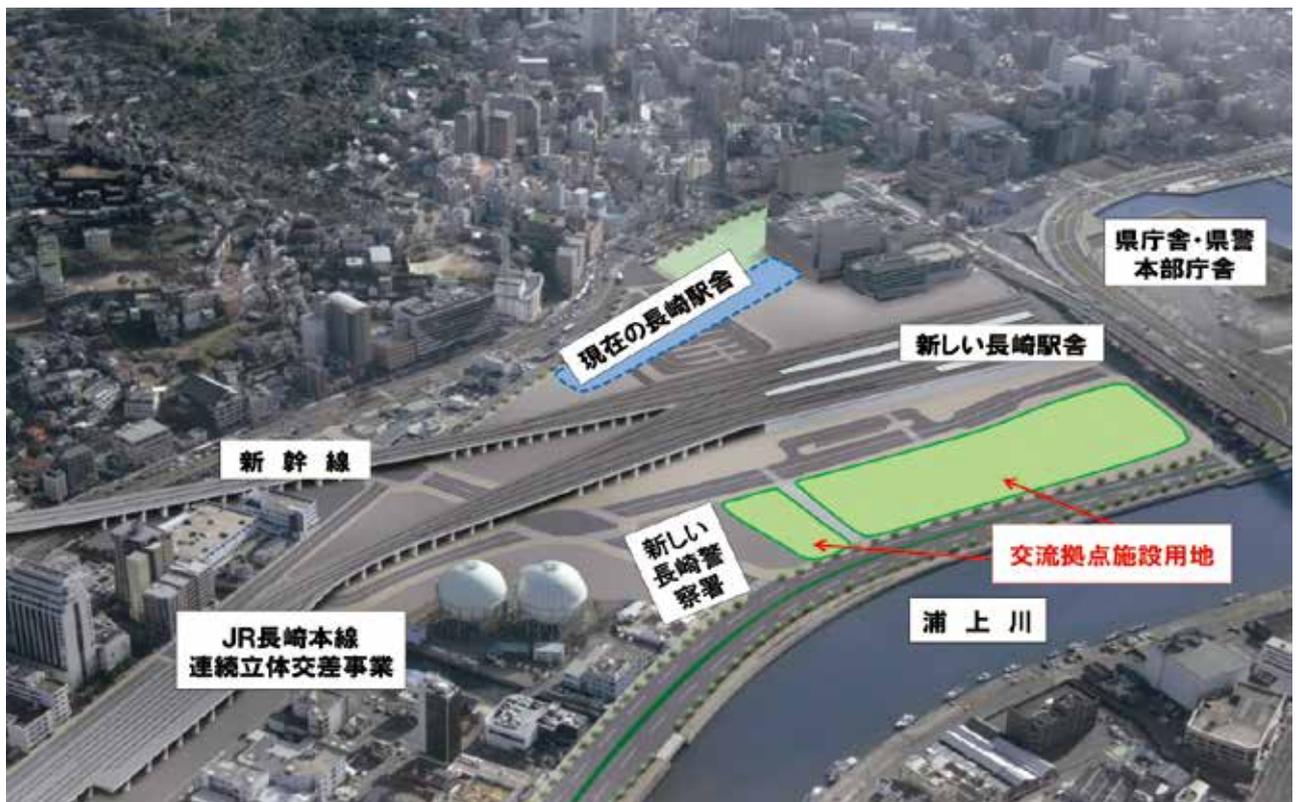
1 MICE計画と外部環境の変化について

その前に、ちょっとおさらい

MICE (マイス) とは？

M eeting	～会議
I ncentive travel	～研修旅行
C onvention	～団体が行う会議・大会
E xhibition/Event	～展示会・イベント

上記4つの単語の頭文字を取った言葉で、各地から泊まり掛けで多くの参加者が集まるビジネス上の会議・大会・展示会・イベントを表します。



長崎市のMICE計画

長崎駅西側の浦上川沿いの土地に、

- 大規模な会議施設
- 大規模なイベント施設
- 高級ホテル
- 駐車場・その他の民間施設を建設しようとしている計画です。

■ 土地購入費 → 68億円

■ MICE施設建設費 → 147億円

※ ホテルと民間施設の
建設費は民間負担です。



議会で反対した理由

～今回のMICE計画は2021年
11月完成としています。～

以下 **大きく4点**、ここ直近の外部環境の変化を重視しました。

- ①新幹線の開通問題
- ②新長崎駅舎の完成時期
- ③ハウステンボスへのIR誘致の行方
- ④三菱幸町工場跡地へのジャパネット・ホールディングスの進出計画

変化／その1 = 新幹線(フリーゲージトレイン)の開通問題

当初の計画は、フリーゲージトレインの開通効果を享受出来るタイミングであった。

しかし、
フリーゲージトレインは暗礁に乗り上げ、武雄で降りて乗り換えるリレー方式での開通となる。

疑問

- ①当初見込んでいた開業効果があるものなのか？
- ②マイスの開催数と参加人数に影響はないものなのか？

この検証や説明は聞いた事がありません。

私見

リレー方式での開業前に、必ずしも完成させておく必要はない。

変化／その2 = 新長崎駅の完成時期

長崎駅の高架工事(連続立体高架事業)が1年遅れる事が公表。

疑問

- ③2021年11月にMICE施設やホテルを建てても、
駅周辺は工事だらけという状況ではないか？

私見

そのような状況下で、マイス施設とホテルを先行して
完成させておく必要はない。

変化／その3 =ハウステンボスへのIR誘致の行方

長崎県はハウステンボスへ、IR施設を誘致しようと真剣に取り組まれています。これは、国内最大レベルの巨大なMICE施設が出来た上に、カジノが加わる施設です。

疑問 ④競合はしないのか？

これは国家を挙げた国策でもあり、県は県内の自治体の協力の下、オール長崎県で、国とともに誘致に取り組むことになるのではないかと？

私見 IRの行方がどうなるのか？ここは国会の動きを見守るべき所である。

変化／その4 =三菱幸町工場跡地へのジャパネット・ホールディングスの進出

また直近では、ジャパネット様による幸町の再開発構想が出て来ました。実に夢のある構想にワクワクしています。

疑問 ⑤これまた競合するところはないのか？
⑥構想をすり合わせて、相乗効果を生むような話をしなくてもいいのか？

私見 一定期間、話を詰めていく時間が必要。
話によっては、現在のマイルストーンも修正すべき点が出てくる可能性も考えるべき。

結論

私は一定期間立ち止まって、周りの状況と決定を見守りつつ、環境の変化に対応していくべきだと考えます。

「外部環境がどう変わろうが関係なく、変更なく、進めていくんだ！」という長崎市の姿勢そのものに、この計画の危うさを感じています。

以上のような疑問と考えを質問でぶつけた所、

※次ページへ

※前ページの続き



長崎市の考え

●新幹線をはじめとする駅周辺を取り巻く環境の変化に対しては、
→ 『左右される事なく。』

●佐世保市のIR構想に対しては、
→ 『規模や内容が異なる。』

●ジャパネットホールディングス様による幸町の再開発に対しては、
→ 『お互いの計画の棲み分けを考えながら相乗効果・補完効果を図る。』

との答弁を頂きました。

市の答弁に対し思う事

最初、MICE事業をやりたいから駅西側の土地を買いたいと言い出した時、既に大都市をはじめ九州の近隣でも、福岡、北九州、久留米、大分、そして熊本が作る中、マイルスの誘致競争において、二番煎じ三番煎じどころか既に周回遅れという状況に対し、新幹線の駅直結というのを大きなセールスポイントにしていたはずで、だから、『あの土地を買わせて下さい。』という説明を受けていました。



2018年6月14日付
長崎新聞より

がMICE施設を備え、ジャパネットホールディングス(佐世保市)も近隣地でアリーナ整備を検討している」と指摘。さらに新幹線はフリーゲージトレイン(軌間可変電車、FGT)導入が困難でリレー方式となつたことにも触れ、集客へのマイナス効果を懸念し「MICE施設の家を練り直すべきだ」と述べた。これに対し、田上市長は市内のMICE誘致の現状が困難でリレー方式となつたことにも触れ、集客へのマイナス効果を懸念し「MICE施設の家を練り直すべきだ」と述べた。市議会は18、21日の環境経済委員会でもMICE関連予算を審議する。議会内には賛否あり、行方が注目される。(田賀農彦)

リレー方式での開通で、新幹線が開通した効果が出るとは思えない状況になったからお尋ねしたところ、『**左右される事なく**』
と言うのは全くもって**無責任でその場しのぎの回答**にしか解釈出来ませんでした。

ハウステンボスにIRが仮に出来るとなったら、
全国有数の規模の巨大なMICEが出来る訳ですから、
『規模や内容が異なる』
という解釈ではなくて、向こうに持っていかれるかもしれない。と言った懸念を何で全くもたないのか?**不思議です。**

国と長崎県が、県内の自治体をフル活用してハウステンボスへ誘致をやっている中、
長崎市だけ、『こっちのミス施設へどうぞ』とやっているのでしょうか?
この行方は、今見守る所だと思います。

幸町の開発については、

お互いの計画の棲み分けというのは、ジャパネットさんの計画を聞きながら、ジャパネットさんが出来ない部分を行政が補っていく。
これが相乗効果・補完効果になるんだと私は思います。

本来行政は、民間から隣接した場所で類似した計画が出た場合、その調整役を果たすべき立場のところ、今回その調整役が当事者となってしまっています。
『自分の計画の方が先でもあったし、そちらがこちらの計画を見て、かぶらないように計画して下さい。』という構図になってはいないか?

ここはジャパネットさんの活力を最大限活かす上でも、あちらの構想を固めてもらい
その上で、長崎市が何をするか?
ゼロベースに立ち止まって協議するところではと思います。

対案 = 私案

長崎駅前の一等地にて、100年に一度の開発。

どういった開発が今後の長崎に一番いいのか？

一度建てたら今世紀中はそのままです。

子育て世代の親として個人的にも強く感じている事が、
子供の遊び場が長崎には圧倒的に少ないことです。
雨の日なんかどこ連れて行こうか途方に暮れます。

大きい公園にと諫早の干拓の里へ行ったり、
動物見せようと西海市のバイオパークへ行ったり、
テーマパークへと佐世保のハウステンボスへ行ったり、
佐世保と言ったら、海きらら・森きららにも連れて行きます。

どうして県都長崎市でこんなに遊べないのか？

雨の日でも子供と遊べる施設を誘致して頂きたかったです。

駅直結な訳ですから、諫早や大村からも
多くの家族連れで賑わい、
正に交流拠点施設となった事でしょう。
私案ですが具体的には、『ラウンドワン』。
ラウンドワンのキッズスポッチャなんて
凄く楽しそうです。

これは遊び場がないという
学生さんからも強く望まれています。

ボーリング、アミューズメント、カラオケ等の
複合施設で、スポーツも屋内で楽しめます。



子どもに大人気!
家族三世代が
楽しめる!



※ラウンドワン様ホームページより

ラウンドワンがない県は全国で7県。
長崎県は九州で唯一ラウンドワンがないのです…



バブルサッカー



バランススクーター



ポケバイ



ローラースケート

※ラウンドワン様ホームページより

今の子ども達は長崎に生まれて、学生卒業するまで
長崎で生まれ育って良かったという体験が出来ているでしょうか？

遊び場がない。買い物が出来ない。デートする所もない。
若い人によく言われます。
都会を目指し長崎離れるのも理解できます。

そういったのを誘致出来ないか、水面下でずっと提言していました。

又は、
ただのアイデアベースですが、
『世界三大夜景が見える観覧車』。
これも相当の集客が見込めないのか
検討を求めています。



※イメージ写真は神戸ハーバーランドの夜景

又は、人をどんなに招いてもお金を落としてもらわなければ意味がありません。
何にお金落としてもらうのが一番長崎らしいか？

長崎と言えば港を活かした水産です。

長崎のお魚を集めた『お魚センター』の設置も求めました。

もともとあの場所は魚市だったのですから、ぴったりです。

その魚を運ぶのに駅が出来たのですから、

長崎のまちづくりの流れにも

合致するはずです。



※イメージ写真は函館魚市場です。

水揚げ場近くに市場と飲食店が併設された
総合魚市場の設置は水産県長崎の大いに参考
になるところかと構想しております。

と言った具合に数年に渡って水面下で市に対し意見・要望して来ましたが、
何一つ実現出来ませんでした。

残念です。

これだけ外部環境は『待て』とサインを
出しているにもかかわらず、
『2021年11月開業』を第一優先にして
進める必要があるのでしょうか？

むしろ、外部環境の変化に対し、立ち止まって案を練り直す中で、
そういった事を実現出来ないか？
もう少しブラッシュアップ出来ないのか？
その時間くらいあるだろう？

…との思いで反対した次第です。

可決を受けて思う事

私は反対の立場を取りましたが、
今回のマイス計画の予算は可決されました。

この市政報告をお配りしている中の多くの方にご意見を頂きました。
またアドバイスも頂きました。
賛否両方のご意見を満遍なく頂けました。

残念ながらそのせっかくのご意見に対し、相反した方も多数いらっしゃいます。

私なりに熟慮した結果の決断であり、生半可な思いと見識で決断してない事をご理解頂ければ幸いです。

今任期は特に、MICEを審議する「環境経済委員会」に40人の市議会議員中、
唯一の4年連続の所属をし、MICEに関しては相当の勉強をしました。

この計画の危うい部分も見えています。

決まった以上は、
この計画が失敗する事のない様、そして成功する様、
私の見識を逆に活かせる様尽力していきたいと思います。

各種媒体でお伝えしています

いずれも「平野 剛」の検索で表示されます。
長崎や市政に関する情報を配信しておりますので
是非ご参照ください。

平野 剛 公式ホームページ



<http://hirano-tsuyoshi.net>

平野 剛 オフィシャルブログ



<http://ameblo.jp/hirano-tsuyoshi/>

平野 剛 facebook



<https://www.facebook.com/tsuyoshi.hirano.92>

今後とも長崎市の皆様のお役に立てるように
日々活動してまいります。

お住まいの地域や長崎市行政について
ご質問やご相談などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

〒850-8685 長崎市桜町 2-35

長崎市議会控室

TEL.095-829-1403

FAX.095-820-8043

